



退任にあたり

青森県更生保護女性連盟

会長 神 和子

この度、三十年近くにわたり担って参りました青森地区と青森県更生保護女性連盟会長を辞任いたしました。

この間には十年間、東北地方更生保護女性連盟会長、日本更生保護女性連盟副会長を務めさせて頂きました。これは、ひとえに皆様方のご支援とご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

更女会員としての活動は五十余年になりますが今後とも誰もが安心して暮らせる地域づくりに協力して参りたいと思います。

更女会活動の益々の発展と皆さまのご健勝を心よりお祈り致します。



創立50周年記念 第45回秋の集い(平成24年)



青森刑務所矯正展 (平成29年)

第46号
 発行
 青森県更生保護女性連盟
 青森市長島1丁目3-28
 プラザあすなる内
 TEL 017(734)6211



函館市 第64回社会を明るくする運動
 第22回市民のつどい(H26年7月)



第 69 回社会を明るくする運動
 第 38 回みんなのつどい (令和元年)



あすなる餅つき会 (平成29年)



添え木と港

更生保護施設プラザあすなる

施設長 中村 徹

県下の各地区更生保護女性会の皆様方には、日頃、当施設入所者に多大なる御支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

更生保護施設は、刑務所出所者等のうち頼るべき人がいないなどの理由で、帰るべき場所がない人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供するとともに、生活指導

や就労支援を行うなどして、その社会復帰を手助けする施設です。

そのように支援を必要としている入所者は、ある意味、台風で倒れた樹木に似ています。この倒れた樹木を枯らさないために植樹し直し、しっかりと根付くまで「添え木」をあてがうことが必要になります。再び大地に根を張り、土中の養分を十分吸い上げるためには、樹木そのものの生命力（更生意欲）が重要であることは勿論ですが、添え木にはそれを助ける重要な役割があります。また、添え木は多いほど安定感が増し、再び台風に遭遇しても倒れることがなくなります。入所者にとって、この添え木に当たるものが更生会員を始めとした更生保護関係者の御支援ということになります。

現在、更女の皆様には、給食奉仕活動、衣類などの提供、また昨年来のコロナ禍においては、感染防止用品の入手が困難な中、手作りマスク等の寄贈も賜っております。加えて年末には当施設で行われる餅つき会にも御参加いただき、お餅をいただき、まさに添え木の役割を十二分に果たしていただいているところです。



「自分たちの自立に向け、いろいろな方々の協力、支援があることが分かりました。」という餅つき会に参加した入

所者の感想文からも、自身の周りには数多くの添え木があることが自覚できているようです。

また、更生保護施設を退所した人たちが再犯に陥る要因の一つに、身近に相談相手がないという「地域からの孤立」があるとも言われています。一般社会に出て行くということは、彼らにとっては、荒海に漕ぎ出す小舟といった感覚を抱いているのかも知れません。

「自分は一人じゃない」という入所中からの意識付けと相俟って、「退所後も気軽に立ち寄りた」と思われる、言わば地域社会における「港」のようなホッとできる施設でありたいとも念じております。そのためには、入所中から彼らとの信頼関係を構築しておくことが何より大切になります。そのことを肝に銘じつつ、更生保護施設としての役割を十分果たし得るよう努めて参る所存ですので、引き続きの御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

実施結果報告

地域との連携・協働活動推進地区



十和田地区更生保護女性会
石田 美津子

●どのように意思疎通を図り、協力体制を作っていましたか。

各関係団体の講演や研修の傾聴に女性会員が多数参加協力し、お手伝いとして良い関係を持ってきました。ミニ集会で地域の人も学べるプログラムのときは、近隣の方に声かけをして参加してもらうことも心がけてきた。

●具体的内容

①講演会「慈智」について講師は、常照寺の住職 築田信義様 講話「布施」からはじまり一語一語用紙に書いてボードに貼りその数30枚以上。この世とあの世のお話しでした。

アトラクションは地元で音楽活動している、牛小屋音楽会の坂本雅義様によるギター演奏で小学校唱歌を全員で大合唱。

- ②「講演」を住職様のご好意で、夏休み寺子屋の児童にも聴かせることが出来ました。また、地域の畑を借用し児童はカレーの食材を収穫の体験も出来、作る食べる大事さを学ぶ。
- ③ミニ集会は2回目中止（コロナ）会員でマスクを縫製。更生保護施設プラザあすなろに100枚あげることができました。

●参加人数

年間の延べ参加人数
(夏休み寺子屋1日9人×9日間含む250)人

子育て支援地域活動モデル地区



三沢地区更生保護女性会
会長 柏崎 美江

●子育て支援活動状況報告について

三沢市内にある保育所・こども園三か所に訪問して、バルーンアート教室を開催しました。訪問するメンバーは、事前にバルーン教室を体験し、子どもたちをサポートするための方法を学びました。それぞれの保育所・こども園では、安全を考え年長クラスの子どもたちにバルーンアート作りを体験してもらいました。風船は事前に膨らませておき、子どもたちは風船同士をくっつけたり、顔となる部分に目や鼻などを書いたり、シールを貼ったりしてもらいました。

年中及び年少クラスは、講師の方が披露するバルーンアート作りを鑑賞。年中及び年少クラスの子どもたちは、バルーンアート教室を体験できませんでしたので、事前に配布するためのバルーンを作成しプレゼントすることにしました。

色とりどりの可愛いバルーンを見た子どもたちは大喜びで、共に楽しい時間を共有することができました。1か所のこども園では、バルーン教室後に園児たちと一緒にテーブルで昼食も頂き、当初の目的でもあった世代間交流を行うことができました。また見学に来ていた父兄の方々に、社団運動のティッシューパーやチラシ等も配布しました。

令和2年度 東北管内更生保護女性連盟 会長等会議

日時 令和2年7月9日(木)
午後1時～午後3時まで
場所 各保護観察所でTV会議

出席者
会 長 神 和子
副会長 塩原 誓子
事務局長 柿崎 美恵

協議一

「各県の活動状況について」

各県ともコロナ禍にあり例年通りの活動ができないがこのような時こそ協力し何か出来ることで工夫した活動を続けている地区会が多かったです。

協議二

「今年度の会議、研修について」

集合しての会議、研修等の場合は人数を制限して十分な配慮の下で行うこととし、又、現状を見極めたうえでテレビ会議方式で行われることが多くなる。

中泊町更生保護女性会

会 長 古川 節子

令和二年度は未だ経験したことの無い年となりました。コロナ禍の中でも時間は過ぎ、普通でない日常を過ごすことになりました。

県更女連盟の事業等の中止により、各地



年間を通じての 「学校支援美化運動」

区会員との情報交換を楽しみにしていた会員さんはとても残念がつております。コロナ禍の中ではありましたが、会員さんの協力により「検温、手指消毒、マスク着用」等を徹底し、幾つかの事業を行うことが出来ました。

四月の総会は「書面表決」により承認を得

るといふ初めての経験でありました。

実施した主な事業は、年間を通じての「学校支援美化運動」です。学校等の協力を得てお花を活けて、子ども達への声かけ、教職員とのコミュニケーションを図る事が出来ております。又、町民文化祭での「親子の集い」等明るい町づくりへの啓発活動を保護司会と連携して行ないました。

保護司会との合同研修会も例年通り行い更に今年度は保護司会が実施した「オンライン講演会」も受講することができました。

今後、犯罪や非行のない社会の実現に寄与し地域に根ざした活動に努めて参ります。

コロナの一日も早い終息を願っております。



社会への貢献活動を一緒に



十和田地区更生保護女性会

会長 東 静

世界がコロナ禍の中、突然更女会会長のバトンを受け取る事になってしまいました。

当女性会は昭和45年発足で、私は平成27年保護司の任命を受け同時に入会致しました。

今年度はコロナの事もあり活動が少なくほっとしましたが、今後も共存しての活動となるのではないでしようか。

当会は高齢化はもとより様々な問題を抱える方が増え、多数の方々が退会されてしまいました。あわてて友人達に応援してもらおう事に。誘い文句は「保護司の方々と一緒に」社会を明るくする運動「そして社会へのボランティア活動を、社会への貢献活動を共にやってもらえませんか、それを天国のパスポートにしましょうよ！」と。それでたくさんの方々に加入していただきました。

まだまだ募集中です。

先輩方そして新人の皆さん方と一緒に元氣なうちに楽しんで活動できればと思っております。

更生保護女性会員のキャラクター オコジョさん



女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための支援活動などを行うボランティアです。サラちゃんに「黄色いりぼんの髪飾り」をプレゼントしたのは、更生保護女性会員のオコジョさんです。



更女会網領の心で 各団体の方々と連携



三戸地区更生保護女性会

会長 武士沢 厚子

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度の総会は「自粛」の形で皆さまから委任状を集めて行いました。また、今回、会長に就任させて頂きまして、前代会長、役員の方々に重く責任を感じています。

今回、県更女連盟の行事が中止となり、例年の県連「秋の集い」や県更生保護大会等のバスの中での情報交換は楽しく絆を深める場でもあったのを思うと大変残念に感じます。早期の新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりです。

以前、東北地方更生保護女性会員研修会が福島県福島市で開催され参加をさせて頂きました。福島県保護観察所長様から「更女会の方々に大きな『心』がある。少年院内で更女の方々と少年「女子」を入れ、おはぎづくり活動に参加をさせた。「こういう食事を昔からしたかった。」初めて口を開き、梔子搾っていた少年「女子」の心を開いてくれたのは更女の方々です。」と感動と感謝でいっぱいでした。これからも更女会網領の心で、各団体の方々と連携をとり楽しく活動してまいります。

令和2年度 受賞者名簿

おめでとうございます

法務大臣感謝状

(八戸) 野澤 壽代

日本更生保護 女性連盟会長表彰

(むつ) 高橋 英子
(鶴田) 相川 敏子

東北地方更生保護 委員会委員長表彰

(五所川原) 相馬 良子
(十和田) 苦米地 孝子
(大鰐) 蛭田 アキ子
(平川) 葛西 三枝
(三沢) 奥谷 幸子

東北地方更生保護 女性連盟会長表彰

(青森) 小原 千鶴子
(弘前) 倉光 稻子
(五所川原) 浜田 悦子
(八戸) 木下 令子
(黒石) 山本 アイ子

(三戸) 澤田 徳子

(七戸) 岡村 千鶴子

(十和田) 大沢 政子

(大鰐) 佐藤 由美子

(むつ) 花 渕 ちる子

(おいらせ町) 菅原 多恵子

(中泊町) 荒 関 ノブ

(平川) 三浦 千恵子

(野辺地) 大山 ユキエ

(三沢) 根岸 和枝

(東北町) 浅井 信子

(五戸) 森田 ゆみ子

(板柳) 佐藤 恵理子

(つがる市) 野呂 のり子

(鶴田) 長内 サエ子

(大間) 新相 郁子

(六戸) 中村 しづゑ

青森保護観察所長 感謝状

(青森) 正木 良子
(弘前) 久保田 節子
(五所川原) 千田 緋都美

(八戸) 小林 節子

(黒石) 八木橋 美知江

(三戸) 武士沢 厚子

(七戸) 平野 重子

(大鰐) 松田 陽子

(むつ) 杉山 秋子

(おいらせ町) 北向 くみ子

(中泊町) 大川 久美子

(野辺地) 高野 節子

(三沢) 瀧沢 良子

(東北町) 新山 トワ

(五戸) 山部 照子

(板柳) 山内 迪子

(つがる市) 藤田 久美子

(鶴田) 八木橋 かつ

(大間) 松谷 慎子

(六戸) 佐藤 貞子

青森県更生保護 女性連盟会長表彰

(青森) 沼畑 レイ子
(弘前) 成田 圭子
(五所川原) 尾崎 洋子
(八戸) 岩崎 クミ子

(黒石) 木村 那智子

(三戸) 工藤 啓子

(七戸) 天間 キエ

(十和田) 岡山 邦子

(大鰐) 加藤 たか子

(むつ) 吉田 温海

(おいらせ町) 三村 享子

(中泊町) 宮越 幸子

(平川) 大橋 藤子

(野辺地) 熊谷 美恵子

(三沢) 浪岡 ちや

(東北町) 沼山 久仁江

(五戸) 江渡 紀子

(板柳) 内山 榮子

(つがる市) 成田 克子

(鶴田) 渋谷 美保

(大間) 泉山 英子

(六戸) 武田 みつ子



第70回社会を明るくする運動 作文コンテスト

青森県更生保護女性連盟会長賞「さくら賞」 表彰作品



挨拶からの コミュニケーションを

野辺地町立
野辺地中学校
2年

白濱 なお
(しらはま なお)

犯罪、文字通り罪を犯すこと。世界中で、毎日のように犯罪が、今も至る所で起きている。最近では、SNSでの誹謗中傷で自殺をしようとする人が多い。

現在のような犯罪が多発する暗い社会を明るくするために、私たちができることは一体何だろうか。

そもそも今の時代、コミュニケーションが不足しているのではないだろうか。私自身、これまで人と話すのは得意ではなかった。何を話していいのかわからなかったし、どう会話をつないでいいのかわからなかった。自分の会話に相手に興味なかったらと考えると、どの話題について話していいのかわからない。まして、学年が上がれば上がるほど、どうしても人と関わる機会は多くなる。そこでどうしたら良いかと考えたとき、挨拶ならできそうだと考えた。会話をしなければいけないとなると、どうしても身構えてしまふ私だったが、挨拶なら笑顔で自然にできた。挨拶は大事なコミュニケーションのツールだと実感した。実際、今も朝登

校するとき、地域の見守り隊の方々は、私たちの安全を確保しながら、笑顔で挨拶を交わしてくれる。こちらもその笑顔につられ、笑顔で挨拶を返す。これも大切な人とのつながりで、広がっていくほど、街全体が明るくなり、犯罪や非行のない地域社会になっていくと私は考えた。

犯罪に対し、取り締まりを強化し、罪を犯した人を処罰することも必要ではある。しかし反省して立ち直ろうとする人の邪魔をしてはいけない。つまり、いつまでも非難し、更生の妨げをしてはいけないということだ。これは、もしかしたら犯罪と同じくらい、罪になるのではないか。

例えば、学校で何かトラブルを犯した人がいたとする。その人は、自分のしたことを反省し、同じ間違いをしないよう誓った。でも一方で、周りの人が、「あいつ、何かやらかしたらしいよ。」「最悪じゃん。」「などと、いつまでも批判すれば、その人は立ち直ることができないかもしれない。だから、みんなが非難せず、立ち直ろうと決意した人を社会全体で受け入れていくこと、犯罪・非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることが大切だと思う。そのために、まず挨拶や感謝の気持ちを伝えることから始めてみてはどうだろうか。「おはよう。」「や

「ありがとう。」「など、数秒のコミュニケーションでも、心は嬉しくなるはずだ。一つの犯罪でも罪は罪。たった一人が犯した罪によって、傷つく人はたくさんいるはずだ。もちろん、罪を犯した人自身も傷ついているはずだ。これから、傷つ

けられる人、悲しい思いをする人が一人でも減っていくように、一部の人のみではなく、みんなで力を合わせていくことが大切だ。戦争だけではなく、犯罪・非行のない、安全で安心な暮らしが送れる社会を作っていきたい。私もこれから、家族や学校、地域の方々との挨拶をさらに積極的に行っていきたい。また、友達や先生とも何気ない会話を通し、コミュニケーションをもっと図っていきたい。まずは、私ができる最大限のことをし、世の中が少しでも明るくなる一歩を踏み出していきたい。

令和2年度 県連盟主要事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月 日	行 事	場 所	出 席 者
令和2年			
4 10	三役会議	更生保護会館プラザあすなろ	神会長 他4名
7 9	東北地方更女連盟会長等会議 (テレビ会議)	青森保護観察所	神会長 塩原副会長 柿崎事務局長
10 1	東北地方更女連盟会長等会議 (テレビ会議)	青森保護観察所	神会長 塩原副会長 柿崎事務局長
11 10	東北研修 (テレビ会議)	青森保護観察所	神会長 塩原副会長 乙供副会長 斉藤副会長 柿崎事務局長 石田美津子 (十和田) 柏崎会長 (三沢)
令和3年			
1	4 第1回再犯防止推進委員会	青森保護観察所	神会長
	8 社会を明るくする運動 作文コンクール	青森県観光物産館アスパム	柿崎事務局長
2	16 更生保護関係団体会議	青森保護観察所	塩原副会長 柿崎事務局長
	18 保護司、更女、BBSの研修	青森保護観察所	神会長 塩原副会長 柿崎事務局長
	25 三役会議	更生保護会館プラザあすなろ	神会長 他4名
3	12 7団体代表者会議	青森保護観察所	塩原副会長
	25 第2回再犯防止推進委員会	アラスカ会館	塩原副会長

代表 会長 神 和子
 編集 委員 金 谷 多恵子
 今 塩 原 誓 子
 井 百 合 子



「新型コロナウイルス感染症収束の見通しのつかないまま私達の生活のあり方もいろいろ変わって来ましたが、どんな時でも相手を思いやる心、寄り添う心を持ち続けたいと思っております。

お忙しい中ご寄稿下さった方、又会員の皆様ありがとうございました。

(編集委員)

あてがき